

大仙市公募型指名競争入札の告示について

仙北地域特定環境保全公共下水道マンホールポンプ場保守点検業務委託（長期継続契約）に係る公募型指名競争入札を行うので、入札参加の希望がある者は、次により申込みをすること。

令和 8 年 2 月 19 日

大仙市上下水道事業管理者職務代理者
上下水道局長 小林 孝 至

1. 入札に付する事項

- (1) 件 名 仙北地域特定環境保全公共下水道マンホールポンプ場保守点検業務委託（長期継続契約）
- (2) 場 所 大仙市仙北地域
- (3) 業 務 種 別 役務の提供
- (4) 期 間 令和8年4月1日 から 令和9年3月31日 まで
- (5) 発 注 担 当 課 上下水道局下水道課
- (6) 上記に係る仕様書、設計書等：別添に掲載する仕様書、設計書等を参照すること。

2. 入札参加に必要な要件

① 参加申込期限日（3/2） 時点における要件

- (1) 参加申込期限日時点において、令和7・8年度大仙市契約業者資格審査申請のうち、入札参加有資格者名簿登録業者（役務の提供）であること。
- (2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しないこと。
- (3) 本市の指名差控え期間中又は入札参加資格停止期間中でないこと。
- (4) 大仙市内に本社又は営業所があること。ただし、営業所に関しては、本社より入札、契約、代金の請求及び受領等に係る権限の委任を受けていること。
- (5) 労働安全衛生法第14条（安衛令第6条21号酸素欠乏症等防止規則第11条）の規定に基づく酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習を修了した者を酸素欠乏危険作業主任者として配置することができること（平成16年3月31日までに第2種酸素欠乏危険作業主任者技能講習を修了した者も含む）。
- (6) 以下のいずれかに該当する者。
 - ①廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第14条第1項の規定に基づく秋田県が公表する秋田県産業廃棄物処理業者検索システムの産業廃棄物収集運搬業（汚泥）の秋田県知事の許可を受けた者又は履行開始日までに同名簿に当該地域を営業区域として登載見込みの者。
 - ②秋田県が公表する浄化槽保守点検業者名簿（令和8年1月22日現在）に、大仙市（旧仙北地域）を営業区域とする浄化槽保守点検業者として秋田県知事登録を受けた者又は履行開始日までに同名簿に当該地域を営業区域として登載見込みの者。

3. 入札参加に必要な提出書類

以下に記載する書類は、基本は必須の提出書類となるが、【任意】と記載されたものについては該当する場合に申込書と併せて提出すること。

- (1) 公募型指名競争入札参加申込書（様式第1号）【必須】
- (2) 物品調達及び役務の提供における類似実績調書（実績の有無に関わらず）【必須】
※実績の有無を問わないとする案件では、類似実績調書に実績無しとの記載でも可としますが、「2-1. 入札参加申込後の参加制限等」に記載する人数にはカウントになりません。
- (3) 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習（又は第2種酸素欠乏危険作業主任者技能講習）の資格者証等の写し及び資格保有者が被保険者にあつては資格者が在籍していることを証明として、健康保険・厚生年金保険被保険者標準報酬決定通知書又は雇用保険被保険者資格喪失届・氏名変更届（資格取得年月日と事業所名の記載があるもの。）等の写し、又はこれらに準ずる資料を添付すること。【必須】
- (4) 秋田県が公表する秋田県産業廃棄物処理業者検索システムに登載見込みの者については、その証明書等を写しを付けること。（同システムに登載済みの者は添付不要。）
- (5) 秋田県が公表する浄化槽保守点検業者名簿に登載見込みの者については、その証明書等を写しを付けること。（同名簿に登載済みの者は添付不要。）

4. 入札参加申込等

入札に参加しようとする者は、仕様書、設計書等を確認の上、公募型指名競争入札参加申込書と必要書類（以下「入札参加申込書等」という。）を添えて、以下に記載する提出期間内までに提出しなければならない。なお、提出方法は持参による方法とするが、やむを得ず郵送等の方法を用いる場合には、期限内に到達した場合のみ有効とする。

提出された入札参加申込書等に不備がある又は不足している場合には、追加で書類を求めるため、追加書類の提出の依頼があつた際は提出期間内に提出すること。

- ①提出期間 令和8年2月19日（木）から 令和8年3月2日（月）まで
時間は、午前8時30分から午後5時まで（土日、祝日は除く。）
ただし、最終日(3/2)は、正午までに提出したものに限り有効とする。
- ②提出場所 〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号
大仙市役所 総務部 契約検査課
- ③提出部数 1部

5. 設計図書等を示す閲覧場所、閲覧期間、質問及び回答について

- (1) 閲覧場所 大仙市ホームページ上にて公開しているため、閲覧すること
- (2) 閲覧期間 令和8年2月19日（木）から 入札日前日 まで
閲覧期間を過ぎると閲覧ができなくなるため、注意すること。
- (3) 設計図書等に関する質問及び回答について
 - ①質問期間 令和8年2月19日（木）から 令和8年2月25日（水）まで
時間は、午前8時30分から午後5時まで（土日、祝日は除く。）

②質問担当課 上下水道局下水道課

③質問方法 質問は書面による提出、FAX又は電子メールによる送信にて行うこと。
質問に関する書式は指定しないが、質問日、業務名、会社名、住所、代表者名、担当者名、電話番号、質問内容を漏れなく記載すること。
※口頭又は電話等による質問受付及び回答は行わない。

④連絡先 (FAX) 0187-63-2004
(電子メール) gesuido@city.daisen.lg.jp

⑤回答方法 令和8年2月26日(木) 午後5時 までホームページにて回答する。
ただし、質問がない場合には回答は行わない。

(4) 入札に関する質問について

①質問担当課 総務部 契約検査課

②連絡先 0187-63-1111 (271)

6. 指名通知等

- (1) 申込内容を審査し、指名する者に対しては、 令和8年3月13日(金) に郵送する。
- (2) 入札参加申込書等の審査の結果、指名されない場合がある。
- (3) 入札参加申込書等を提出した者のうち、入札参加資格審査結果通知書を受理した者は、当該案件に指名されなかったことについて、その理由を求める場合には以下の提出期限までに限り、書面により説明を求めることができる。
なお、提出は持参による方法とし、郵送及び電子メール等によるものは受付けない。

①提出期日 令和8年3月16日(月) 午後5時まで(土日、祝日は除く。)

②場所 総務部契約検査課

7. 入札保証金及び契約保証金

入 札 保 証 金：免除

契 約 保 証 金：①大仙市内に本社がある者は免除。

②大仙市財務規則第121条の各号に定めに該当する場合は免除。

上記の①又は②に該当しない場合は、契約金額の100分の10以上の契約保証金を納入する必要がある。

- 8. 入札予定日について ※指名通知に、確定した入札日及び入札時間が記載されます。
令和8年3月19日(木)

9. 入札書の提出方法

入札方式： 紙入札による

指名通知書に記載する入札日時及び入札場所において「紙入札」にて行う。開札については、入札終了後直ちに入札場所にて行う。

入札執行回数は1回とする。ただし、落札者が決定しないときは、1回に限り再入札を行う。

10. 低入札価格調査制度又は最低制限価格制度の適用について

本案件は、発注工種が「役務の提供」であるため、該当しない（適用としない）

11. 契約締結時期等

落札の決定をした日から5日以内に契約を締結する。

電子契約を希望する場合には、落札後2日以内に電子契約利用申出書を提出すること。

なお、契約締結日から令和8年3月31日までの期間は本案件の履行に係る準備期間とするため、この間における本業務の準備は、受注者の責任と負担により行うものとし、準備期間に要した支払いは行わないものとして了承の上、入札に参加すること。

12. 本入札案件の年度開始前準備行為に関する特記事項

本案件は、令和8年度予算の成立を前提に行う年度開始前準備行為であり、議会による予算が成立した場合に限り入札執行することとし、予算が成立しなかった場合には入札を取止めとする。なお、予算の議決予定日は令和8年3月13日（金）であり、予算が成立した場合には指名通知書を発送するものとする。

ただし、予算の議決日が何らかの理由により日程変更となった場合には、指名通知書は予算成立後の発送となるため、指名通知及び入札予定日が変更になる可能性がある。

13. 注意事項

- (1) 入札参加申込等の説明会及び現場説明は、実施しない。
- (2) 入札参加申込書等のヒアリングは実施しない。ただし、必要と認めた場合には、説明及び追加資料の提出を求める場合がある。
- (3) 提出された入札参加申込書等は返却しない。なお、入札参加申込書等を公表又は無断で使用することはしない。
- (4) 入札参加申込（入札参加申込書の作成等）に関する費用は、提出者の負担とする。
- (5) 委託期間については、事情により変更することがある。
- (6) 入札参加者は、設計図書等を熟知し、大仙市競争入札心得及び大仙市入札にあたっての留意事項等を遵守すること。
- (7) 入札参加申込書等を提出し、かつ指名通知を受領した者が何らかの理由により入札に参加できなくなった場合には、入札日前日までに入札辞退届を提出すること。

- (8) 本案件は、都合により取消しをすることがある。
- (9) 入札申込書等に虚偽の記載をした者は、本案件の指名業者としないとともに、入札参加資格停止等の措置を講ずる場合がある。
- (10) 参加申込期日までに入札参加申込者が1者のみであった場合で、募集延長又は再告示しても参加業者の見込みが薄い（又は無い）時と落札業者の決定までの時間的猶予が取れない時は、入札を執行する場合がある。
- (11) 本案件は、電子契約により契約締結することができる。電子契約による契約を希望する場合には、落札後、2日以内に電子契約利用申出書（単体用）を契約検査課のメールアドレスに送信することで、同意したこととみなす。

14. 入札参加申込に関する入札参加制限等について

入札参加希望者が5者以上いる場合には、競争性が十分に確保されているとみなせることから、入札参加を制限する場合がある。

入札参加の優先順としては、「大仙市物品調達及び役務の提供を受ける契約における市内業者優先発注等に係る実施方針」に基づき、大仙市内に本社又は営業所がある者を優先とするが、大仙市内に本社がある者を最優先とし、次に大仙市内に営業所がある者とする。それ以外の者については、大仙市内に営業所がある者の次に秋田県内に本社又は営業所がある者とし、次いで県外に本社又は営業所がある者という順とする。

そのため、案件ごとに設定している「2. 入札参加に必要な要件」において、住所要件を「全国を対象」としている案件であっても、入札参加希望者のうち、市内に本社がある者が5者以上となった場合には市内に本社がある者だけを指名し、それ以外の者については指名しない場合がある。なお、市内に本社がある者が5者以上に満たない場合には、5者以上となるまで、市内に営業所を有する者、秋田県内に本社又は営業所を有する者、県外に本社又は営業所を有する者と順に指名対象とする。

ただし、本参加制限の「5者」となる人数については、優先となる業者に本案件との関連がある類似実績がある場合に人数としてカウントするため、優先となる業者に実績がない場合には人数にカウントしないものとする。